

シイの実通信

第56号

大島地域青少年育成推進協議会発行
(大島支庁総務企画課内)

* 過去の情報誌については、鹿児島県ホームページに掲載してあります。ご覧ください。



「子どもの居場所ダ・ヴィンチ」(和泊町) が令和7年度「優れた地域塾」に認証されました！！

令和8年1月25日(日)に鹿児島県庁にて「令和7年度かごしま地域塾活動活性化セミナー」が開催されました。大島管内の関係者の方々にオンラインで参加していただき、御協力ありがとうございました。

セミナーでは、「子どもの居場所ダ・ヴィンチ」(和泊町)が県内で唯一令和7年度「優れた地域塾」として認証され、代表者から活動紹介がありました。沖永良部島の子どもたちを対象に、釣りや海遊び、農作業体験等、自然を活かした多様な活動をし、特性のある子どもも活動へ参加しやすい環境を整えていること等が紹介されました。

また、鹿児島市大龍小学校長中村智子氏による「特性のある子どもへの対応やサポート、活動参加への促し方」と題した講演があり、具体例を交えながら対応方法や参加を促す工夫について提示されました。最後に、団体の代表者や関係者がグループで意見・情報交換をし、有意義なセミナーとなりました。



「子どもの居場所ダ・ヴィンチ」の活動紹介



沖永良部島の自然を活かした活動の様子

令和7年度 大島地域青少年環境づくり懇談会 開催

令和7年12月2日(火)に大島支庁にて「令和7年度大島地域青少年環境づくり懇談会」が開催されました。

酒販組合、携帯電話会社等の関係業界、学校関係者、各市町村担当者、各種団体等の代表者が集まり、地域の青少年問題及び有害環境について情報交換・情報共有を行いました。

各警察署からは、各管内の少年犯罪・補導状況について報告があり、情報共有が図られました。奄美警察署生活安全課課長代理兼人身安全・少年係の森健太郎氏からは、「少年非行等の概況について」と題した講話がありました。青少年の犯罪となるまでの入り口として「友達に誘われて」「ストレスのはけ口として」「遊び心で」等の事例があげられ、防止策として、まずは個人情報特定されるような情報や写真は送らないことや、家庭でできる対策等が紹介されました。大島消費生活相談所からは「大島消費生活講座」、docomo ショップ名瀬店からは「スマホ・ネット安全教室」の紹介がありました。

大島消費生活相談所「消費生活講座」出前講座

電話：0997-57-7226

FAX：0997-52-0999

メール：oosima-syouhi@pref.kagoshima.lg.jp

NTTドコモ スマホ・ネット安全教室 カリキュラム一例
(ベーシック 編)

対象：小学3～4年生

内容：ネットやスマホでやってみたいことを考える

ネットやスマホの危険について考える

(使いすぎ、コミュニケーション)

ネットの特性を学び、適切な行動を身につける

* 詳細は、NTTドコモホームページをご覧ください。

令和7年度「家庭の日」絵画・ポスター・標語作品展 大島地区入賞作品

優良賞

絵画の部



「夏は家族で海遊び」

天城町立天城小学校 4年

吉岡 瑛美

努力賞



「ひいばあちゃんと門送り」

伊仙町立伊仙小学校 4年

春山 由衣

努力賞



「しあわせオムレツ」

奄美市立名瀬小学校 3年

重野 優菜

「家庭の日」(毎月第3日曜日)の普及・啓発のための作品展がありました。

県内の取組総数は、絵画・ポスターの部 2,957 点、標語の部 18,461 点、応募総数は、絵画・ポスターの部 2,675 点、標語の部 746 点の作品がありました。

大島地域からは、絵画の部4点、標語の部6点の作品が入賞しました。

入賞作品は、奄美パーク(2/21～2/27)、県立奄美図書館(2/28～3/6)に展示され、鹿児島県青少年育成県民会議ホームページにも掲載されました。

努力賞



「デザートは別腹」

奄美市立名瀬小学校 4年

酒井 恵麻

標語の部

努力賞

優良賞

うまれたよ わたしにそっくり たからもの
和泊町立大城小学校 2年 三島 希愛
ゴミ出しは ほめられ競争 今日勝ち
徳之島町立亀徳小学校 4年 林 佑磨

いつのまにかぞくつつき あまるふとん
徳之島町立亀徳小学校 2年 山崎 晃太
バーベキュー けむりをかきけす わらい声
龍郷町立龍郷小学校 3年 大窪 柚結
世界一 母特製のハンバーグ
知名町立知名小学校 4年 廣森 蒼唯
ひさしぶり みんなで寝たら せまかった
奄美市立宇宿小学校 6年 高木 然年



令和7年度「鹿児島県青少年海外ふれあい事業－シンガポール交流コース」

シンガポールの青少年と交流活動を通じて国際的感覚やふるさとを愛する心の醸成を図り、次代を担う青少年リーダーを育成し、併せて、シンガポールとの友好親善に寄与することを目的としています。

大島管内からは、県立喜界高校の都瞭菜さんがシンガポールに派遣され、様々な体験をし、無事に帰国しました。この研修で体験し、学んだことを生かして、社会で飛躍することを期待しています。都瞭菜さんの感想をご紹介します。

「本事業に参加して学んだこと」 県立喜界高校 3年 都 瞭菜さん

私は「積極的にコミュニケーションを図り、実りある学びを得る」という目標を掲げ、シンガポール研修に参加しました。出発前は英語力への不安もありましたが、現地の方々やホストファミリーとの交流を通じ、ジェスチャーや知っている単語を駆使して自分の思いを伝える喜びを肌で感じることができました。

また、多宗教国家としての共生、水資源の確保、環境問題への先進的な取り組みについて英語で学び、議論を交わした経験は、私の大きな自信となりました。この研修で得た最大の学びは、言語の壁を乗り越えるために必要なのは完璧な文法ではなく、「伝えたい」という積極的な姿勢であるということです。

今後はこの経験を糧に、異文化や多様な価値観を尊重しながら、どのような環境においても主体的に行動し、周囲と協力できる人間を目指して努力を続けていきたいと考えています。



令和8年 春の「郷土に学び・育む青少年運動」（3月11日～4月10日）

春は、卒業・進学・就職など、青少年にとって人生の節目となる貴重な経験をする大切な時期です。青少年の生活環境が変わるこの時期に、家庭、学校、職場、地域及び関係機関・団体等が緊密な連携を図りながら、「郷土に学び・育む青少年運動」を積極的に展開し、地域の青少年育成に努めましょう。

令和8年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」（2月～5月）

- 1 ペアレンタルコントロール（保護者による管理）を！
- 2 低年齢層を含む青少年が保護者のスマートフォンを使う場合もフィルタリングを！
- 3 青少年の発達に応じた話し合いによる家庭内ルールづくりを！
- 4 インターネットを適切に活用し、青少年も保護者も意識や知識を高める取組を！

青少年のインターネットの利用においては、「闇バイト」やオンラインゲームからのトラブル、生成AIを悪用した性的加工等、様々な危険性があります。子どもに携帯を持たせたら、家庭でのルールを話し合い、保護者が責任を持って子どものスマートフォンを管理しましょう。

「郷土に学び・育む青少年運動」強調月間～特色ある取組～



奄美市

「ハアサキオープンフェスタ」 のボランティア参加

鹿児島県立奄美少年自然の家が主催する「ハアサキオープンフェスタ」に奄美市ジュニア・リーダークラブ「TsuMuGi」が運営ボランティアとして参加しました。



瀬戸内町

世代を超えて受け継ぐ誇り！ 大屯祭（オチョンさい）

諸鈍小中学校では、毎年秋に開催される大屯祭を通して、地域の伝統文化の継承に力を注いでいます。



宇検村

あきのおはなしかい

宇検村生涯学習センター図書室の事業で、未就学児親子を対象としたおはなし会と古本市を開催しました。郷土にまつわり民話や秋を感じる作品を通じて家庭での読み聞かせを促進するために行いました。



喜界町

サンゴの石垣修復体験 (早町小学校)

喜界島サンゴ礁科学研究所員や地域住民指導のもと、阿伝集落の崩れたサンゴの石垣の修復作業を体験することで、ふるさと喜界島の文化や環境に興味・関心を持つことができました。



徳之島町

ハロウィンパーティー

徳之島町家庭教育支援チーム「つむぎたい」、ジュニア・リーダークラブ「ていだまい隊」、町子ども会育成連絡協議会が連携してハロウィンパーティーを実施しました。親子連れ約200名が来場する盛況ぶりでした。



知名町

みんなで楽しむコンサート

佐々木駿氏、レイリー氏などのアーティストを招聘し、知名中学校・沖永良部高校吹奏楽部をはじめ、島内の小中高生や一般有志の方々と共演しました。

その他の取組

宇検村 高齢者とのふれあい活動(久志小中学校)
もちつき大会(阿室小中学校)

龍郷町 PTA活動研究大会

喜界町 島内駅伝競走大会
学校自由参観(喜界中学校)

天城町 交通安全運動兼あいさつ運動
学校自由参観

和泊町 今帰仁村交流(わらんちゃヤンバル体験交流プロジェクト)

与論町 お話し会

かごしま地域塾



ヨロンどれみ(与論町)

音楽を通して心豊かに成長しあう地域響育の場

与論島では少子化や核家族化が進み、親子や地域の繋がりが希薄になっています。子育て世代が孤立し、子どもと安心して関われる居場所が少ないことが課題でした。そこで「音楽を通して親子が笑顔で過ごせる場所をつくりたい」「地域全体で子どもを育てたい」という思いから活動を開始。島の自然や文化を歌に込め、親子・地域・世代が響き合う“まなびの場”として育ってきました。

単なる音楽教室ではなく、親子の絆づくり・地域コミュニティの再生・郷土文化の継承を一体的に進める学びの共同体です。町内のイベントへも積極的に出演しています！



龍郷やちばう塾(龍郷町)

西郷隆盛ゆかりの地で自然・文化体験、スポーツ、製作活動

龍郷やちばう塾は、龍郷小学校に通う龍郷、安木屋場の2集落の児童で活動しています。龍郷湾と長雲山系の豊かな自然に囲まれ、西郷隆盛ゆかりの地でもあるこの集落で、自然、島の文化、スポーツ、製作など、また様々なジャンルの活動を行っています。

今年は子供会のグランドゴルフ大会でなんと優勝する事ができ、子ども達の自信に繋がる素敵な思い出となりました。

また、島の文化である八月踊りの際に着用するはっぴを製作しました。お揃いのはっぴで集落行事に参加する事で、集落の方々と一体感も深まりました。今後も学校、保護者、集落で楽しく支え合い、子供達に豊かな経験をさせてあげたいです。



いせん親子チャレンジ教室(伊仙町)「筆であそぼう」

親子で、仲間と、体験活動！

12月20日(土)に島内の方を講師に、はねない・はらわらない・ぜんぶとめる、そんな“あほっぽさ”が魅力の筆文字「筆であそぼう」を実施しました。

太い線と細い線、大きさの強弱を思いきりつけ、あえてでこぼこに仕上げることで、素朴であたたかく、味わいのある文字が生まれます。大切なのは、届けたい相手を思い浮かべながら描くこと。親子や仲間と笑顔で気取らず自由に、心に寄り添うゆる筆文字体験ができ、充実した時間となりました。



あやまる会(奄美市)



大島管内で青少年育成に取り組む団体を紹介します！

あやまる会は、唄者：松山美枝子を会主とする島唄教室です。現在は松山の孫：平田まりなと共に、島唄・八月踊りの伝承に励んでいます。

島唄・八月踊りは本来、シマ、暮らしの中に根付いてきた島の大切な文化であり、島の人であることを象徴するアイデンティティのひとつです。

名瀬の地で、“シマ”作りをしているような感覚で、日々練習を重ねながら時にはゆらい語らい、時には集落へ赴き老若男女で唄い踊る。島の心を忘れず、次世代へ唄い継いでいくことを大切に活動しています。

【学校訪問】

年間を通して各学校や関係機関を訪問しました。学校・関係機関訪問では、県青少年育成事業について周知や情報交換をさせていただきました。日頃から子どもたちと接している学校の先生方、地域の方からの生の声を聴き、地域での子どもたちの役割や安心・安全な居場所が重要だということを実感しました。青少年育成に携わっている方々が、それぞれの役割を果たし、関係機関で連携を図りながら、子どもたちが安心・安全で過ごせる温かい環境づくりをしていけたらと思います。

先日、瀬戸内町立与路小中学校を訪問させていただきました。同校は、島外からの留学生を受け入れており、留学生は世話人がいる下宿形式の住居で共同生活を送りながら通学していました。島全体で留学生を温かく歓迎して、子どもたちは与路島の自然・文化・環境を十分に体験しながら、落ち着いて充実した学校生活を送っている様子がうかがえました。学校のみならず地域住民が日常的に子どもたちを見守り、育成しており、「島ぐるみで子どもを育てる」環境であることを実感しました。

3月は進学や就職で地域を離れる子どもたち多くがいます。自分自身が住んでいる地域・郷土を誇りに思い、明るい未来へ向かって巣立っていくことを願っています。



与路島の風景



【青少年育成市町村民会議参加】

青少年育成市町村民会議に参加し、県青少年育成事業について直接、地域の方々にお伝えする機会をいただきました。学校関係者、各種関係団体等が一堂に回し、地域の子どもの生活環境について等、情報交換・共有を行われていました。「郷土に学び・育む青少年運動」が各市町村の実情に応じて展開され、子どもたちのことについて真剣に話し合われていました。

（情報交換・意見交換の事例）

長期休暇中の共通実践事項の確認、子どもたちの通学路・遊び場の危険箇所の確認、第3日曜日「家庭の日」の周知、地域行事の参加、「早寝・早起き・朝ごはん」の定着、スマホ等の適切な利用、小学校・中学校・高校と連携した取組等



徳之島町青少年育成町村民会議の様子